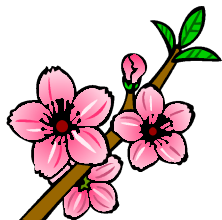


平成28年 3月 24日(木)

こ ち わ

魂知和



安城市立明祥中学校
第2学年 学年通信 最終号

三寒四温

学年主任

中学生だった頃、入試のために四字熟語を覚えるのが嫌いだった。「覚えてどうなる」と思ったりもしたが、その後、「千載一遇」「積小為大」「甘心打破」「万里一空」「行雲流水」「志在千里」「壮心不已」・・・(意味省略)自分を励ましてくれる言葉とも出会った。その中で今日は「三寒四温」について話をしよう。

みなさんも知っているように「三寒四温」とは、寒い日が3日、温かい穏やかな日が4日、このサイクルを繰り返しやがて春を迎えるという意味の四字熟語だ。最近、この言葉の「寒い」⇒「嫌な辛い時期」、「温かい」⇒「嬉しい幸せな時期」と置き換えて、「嫌なことが少し続いててもそう長くは続かず、やがてまた良い時は来る。しかも嫌な時の方が短く、繰り返しながら幸せな時を迎えられる。」と考えることで励ましてもらっている。

今月多くのスポーツのビッグイベントがあった。その中で、数年世界のトップを保持してきたサッカー女子がリオオリンピック出場権を失った。世界の頂点に立ったなでしこの敗戦以上に選手たちの「顔面蒼白な顔」にショックを受けた。

今でこそワールドカップに出場しているサッカー男子にも、「アディショナルタイムに同点に追いつかれワールドカップに出場できなかった「ドーハの悲劇」という時があった。

ワールドカップアジア最終予選。負けて打ちひしがれる日本人選手。「ネクストチャレンジ」と明るくふるまうブラジル人「ラモス瑠偉」。勝ってはしゃぐ日本人選手。勝って兜の緒を締める「ラモス」。確かに日本サッカーは強くなった。しかし、壁にぶつかることに弱い日本チームの特性は改善されないままなのかもしれない。竹のようなしなやかで折れない強さを、君たちには身につけてほしいと願う。

人には生きていくのに様々な力が必要だ。失敗し心が折れてしまっても、強い心を取り戻す力。転んでも起き上がる力。心が折れそうになることはある。心は折れてもいいと思う。折れてこそその心だからだ。折れることも大切だとも思っている。そこから「復活する力」。みんな嫌なことばかりは続かないよ。良い日も来る。雨の日もあればさわやかに晴れる日も来る。来年度は受験生。たいへんだけど、その後には春が来る。私たち2年生職員はあなたたちをこれからも見守っています。頑張れ明中2年生。